ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

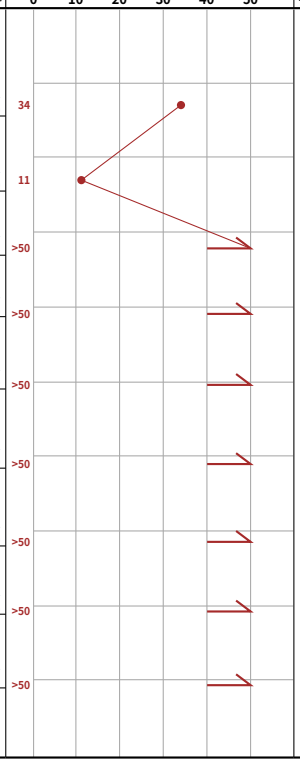
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-1	調査位置				北　緯	36 ° 27 ' 14.0000 "
発注機関	栃木県佐野土木事務所　整備部			調査期間	2009-06-04 ～ 2009-06-06	東　経	139 ° 36 ' 07.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	248.40 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	9.10 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
					盛土 (BS)	暗褐			厚層基材		
					崩積土 (Dt)	灰茶			チャートの強風化部(粘土化帯) コアは土砂・礫状 強風化により褐色呈し岩質脆い 0.50mから礫状であるが岩片やや硬い		06/05 0.80 06/06 1.30 06/05 1.86 06/06 2.10
	245.90	2.35	2.50								
					風化岩 (WR)	灰茶			チャートの強風化部(粘土化帯) コアは、細粒化し褐色を帯びて土砂・礫状		
	245.10	0.80	3.30								
					チャート (Cht)	灰茶			チャートの風化部 コアは密着し片状・柱状 節理面は粘土化 岩片はやや脆い 節理沿いに風化が見られる 3.35～3.50m間土砂状で非常に軟弱		
						暗灰			チャートの弱風化部 コアは密着し片状・柱状で採取 節理面は粘土化 節理は斜状が多く3～15cm間隔に見られる 節理が発達している 岩片は比較的硬い		
						暗灰			チャートの破砕帯 コアは、土砂・礫状である 全体的に風化し岩片は脆弱 部分的にやや粘土化している		
	239.30	5.80	9.10								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	8	12	14	34／30	34
1.45					
2.15	3	4	4	11／30	11
2.45					
3.15	27	23／5		50／15	>50
3.30					
4.05	50／8			50／8	>50
4.13					
5.00	50／9			50／9	>50
5.09					
6.05	50			50／10	>50
6.15					
7.10	50			50／10	>50
7.20					
8.05	50／6			50／6	>50
8.11					
9.05	50／5			50／5	>50
9.10					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						06/04
						06/05
						06/06